

カンボディア国
医療従事者養成基礎調査団
報告書

平成14年4月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

カンボディア王国はWHOによる世界22か国の結核高蔓延・重点指定国の1つで、結核は国内死亡率の上位を占め、乳幼児死亡率は1999年の調べで1,000人に対し125人、妊産婦死亡率は10万人中477人です。カンボディア王国内の医師の数は1975年当時の487人から、内戦直後には43人にまで激減しました。その後、1980年に医師及び医療技術者の育成が再開され、医師、準医師、看護婦及び検査技師の人数は増加はしたものの、その質と量の両面での不足が否めないのが現状です。特に、検査技師（臨床検査技師及び放射線技師）については最も育成が遅れておりかつ人材が不足している分野であり、検査の精度が低い状況にあります。

同国プノンペン市内にはNGOに支援されている国立医療従事者育成学校があり、看護・臨床検査技師及び理学療法分野の人材を育成しているものの、NGOが予算不足により撤退する可能性が高くなっているばかりでなく、カリキュラムや教材の不備も目立つことから早急な改善が求められています。

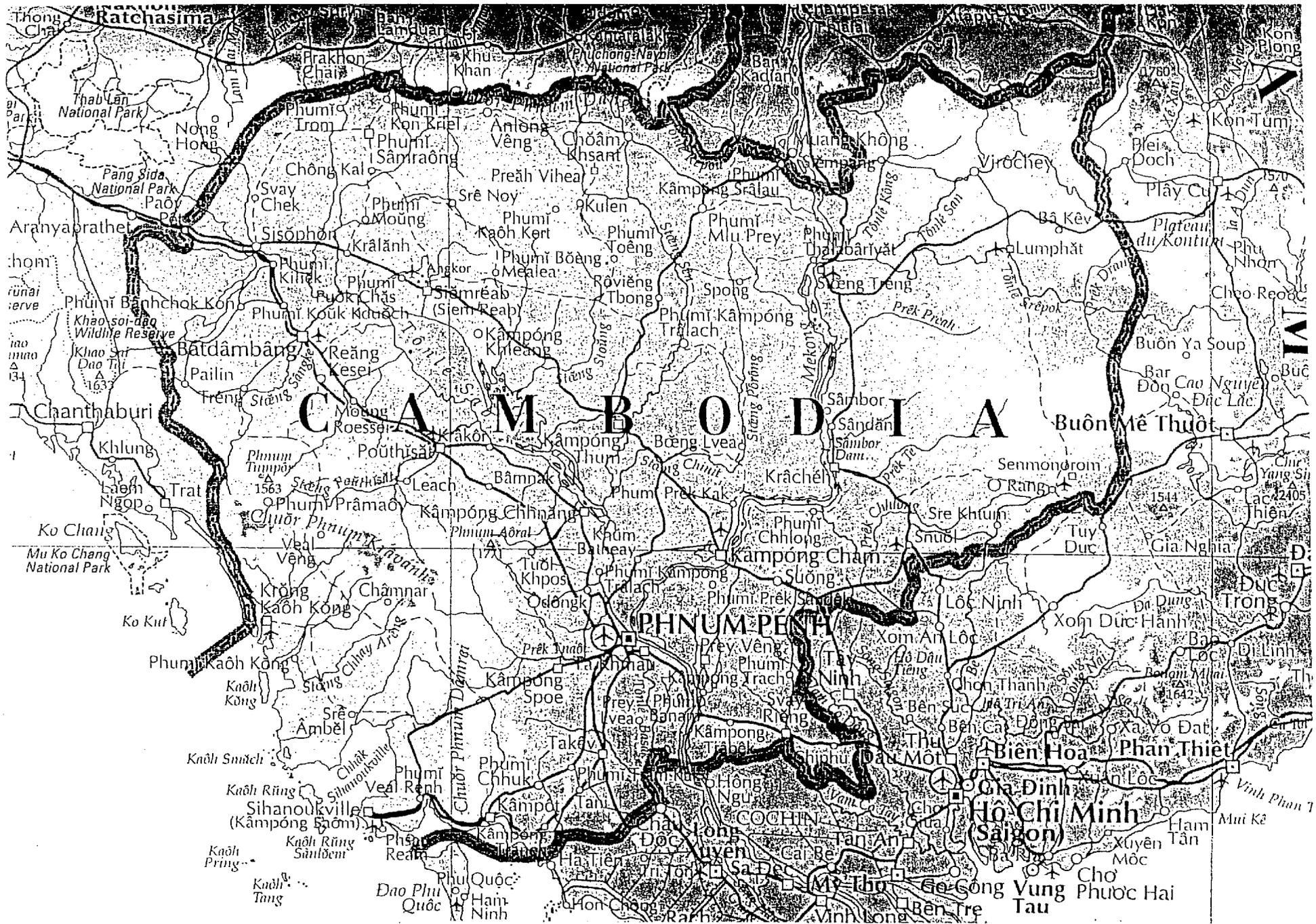
以上の状況を踏まえ、上記学校に関し、カンボディア王国内の医療従事者の現状・教育制度など基礎データを関係機関から収集し、保健省と今後の協力の可能性について協議することを目的として、国立国際医療センター国際医療協力局派遣協力第一課長 建野 正毅氏を団長とする基礎調査団を2002年2月13日から同年2月23日まで派遣しました。

本報告書は上記調査団の調査結果をとりまとめたものです。ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる謝意を表しますとともに、今後とも本件技術協力の成功のため、引き続きご指導、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成14年4月

国際協力事業団

理事 隅田 栄 亮



プロジェクトサイトの位置図



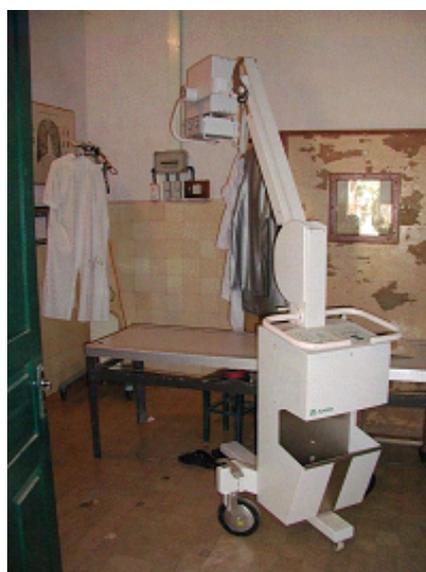
カンボディア 保健省



Kompong Cham 州病院



Kompong Cham 州病院内の臨床検査室の1室



Kompong Cham 州病院にある放射線機器



Kompong Cham 州病院
医師と看護師の常勤がいる



Kompong Cham の医療従事者トレーニングセンター。寮や図書室も併設されている。



Kompong Cham の医療従事者トレーニングセンターの図書室



TSMC は公道より一段下がったところに建設されている。そのため毎年洪水で浸水する。



TSMC の管理棟



TSMC の校舎



TSMC 内の臨床検査実習室



TSMC 内の臨床検査実習室の冷蔵庫の中身



TSMC 内の臨床検査実習室の機材保管棚の中身



TSMC 内の理学療法実習室



TSMC の図書室



TSMC の敷地の高さは裏にあるため池の水面とほぼ同じ



Pheah Sihanouk 病院



Pheah Sihanouk 病院内の臨床検査室